

山宮

ちょうめいし 丁目石

丁目石は、山宮浅間神社と富士山本宮浅間大社を結ぶ「御神幸道」と呼ばれる全長50丁(約5.45km)の道に1丁(約90m)ごとに目印として建てられた石碑です。

丁目石は、元禄4(西暦1691)年に同じ規格で作られたと考えられています。

今では、そのほとんどが失われ、残っていても場所が移されているものもあるため、御神幸道の正確な道筋は、はっきりわかっていません。



御神幸道

約1200年前(西暦806年)、天皇の命令を受けた坂上田村麻呂は、大宮の地に建てた御殿(今の浅間大社)に神を遷しました。

これに由来し、明治初めまで春と秋に神の宿る銚を大宮と山宮を往復させる御神幸という神事を行い、豊かな実りを祈りました。このとき通った道が御神幸道です。



御神幸道を歩く
マップ付き

歩く博物館Mコース<山宮地区>

山宮浅間神社と御神幸道をたずねるコース
市役所6階文化課、郷土資料館(文化会館内)、出張所または市公式ウェブサイトなどにあります。

HP トップページ>市民の皆さんへ>

教育・文化・スポーツ>郷土資料館>歩く博物館

問 文化課 ☎22-1187



ふじのみやを歩こう 山宮浅間神社

市役所3階富士山世界遺産課、山宮浅間神社、イオンモール富士宮または市公式ウェブサイトなどにあります。

HP トップページ>世界遺産富士山>世界遺産としての富士山>世界遺産富士山>ふじのみやを歩こう

問 富士山世界遺産課
☎22-1489

